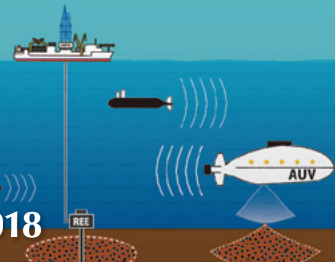




革新的深海資源調査技術

News Letter Vol.4 /14 Dec., 2018



SIP評価委員によるJAMSTEC視察実施

2018年11月15日、SIP課題評価ワーキンググループの委員による海洋研究開発機構(JAMSTEC)の視察が行われました。

須藤亮SIPプログラム統括、五十嵐仁一委員、白井俊明委員、吉本陽子委員らを迎え、石井プログラムディレクターより「革新的深海資源調査技術」の課題

概要を説明するとともに、JAMSTEC施設・設備である研究開発に使用する船舶や調査機器、自律型無人探査機(AUV)をご覧いただきました。

視察後にはプログラム関係者との意見交換も行われ、本課題の目指す姿、国際的な位置づけ等について活発な議論が交わされました。



JAMSTEC横須賀本部



SIPプログラム統括・評価委員との意見交換

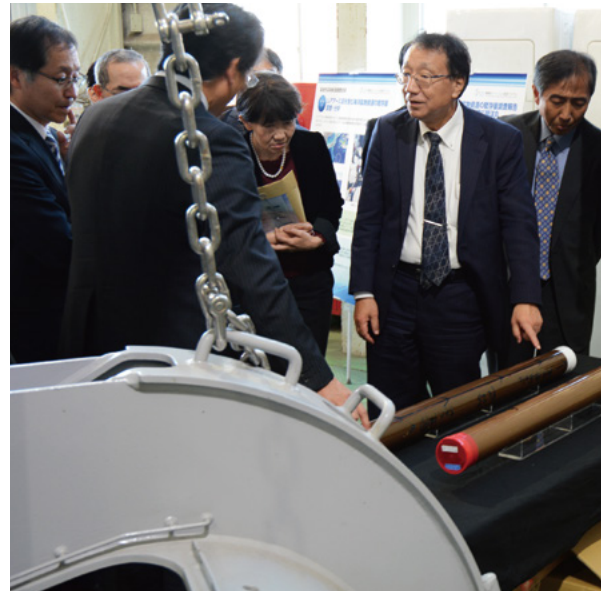
視察の現場では、それぞれのテーマリーダーが、船舶、機器類などを実際に案内しながら、これまでの実績とともに、現場で直面する課題も含めて説明を行いました。

特に、大きな水圧のかかる深海の極限環境下で行う際に重要となる、耐圧性の保持や安全性の確保のための仕組みなどについての紹介がありました。

視察後の意見交換では、委員より、出口戦略となるプログラムとしての達成目標を明確にする必要性が指摘されるとともに、SIP第1期の成果をさらに発展させ世界に誇る成果を達成することへの期待が寄せられました。



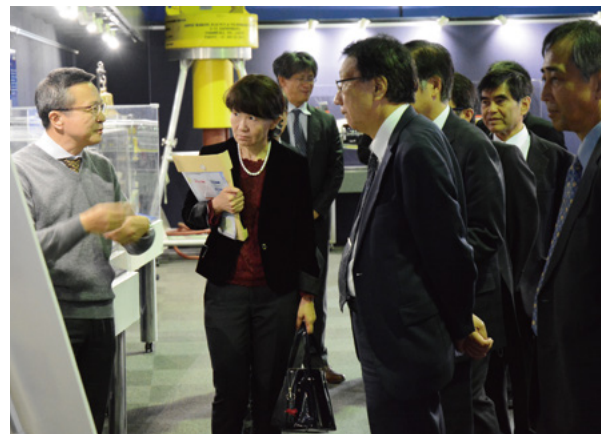
深海潜水調査船支援母船「よこすか」船橋の様子



9月の調査航海で実際に採取してきた地層試料(コア)を見ながら説明をする様子



AUV「ゆめいるか」について説明を行う
テーマ2-1大澤リーダー



「ちきゅう」を利用した深海からの
シアース泥回収の仕組みについて
説明を行うテーマ2-2川村リーダー